

4396 地球のかおり：「ボストンの秋」(産経新聞) 心模様

アメリカ合衆国、ニューイングランドにある。ボストン。

紅葉の季節、十月だった。

北に行くほど、その紅葉の素晴らしさが、増すと言われる。

これは、ボストン郊外での、ワンシーン。

話が前後するが、個展開催で、副学長のご自宅に、宿泊させていただいた。

ボストン郊外、ペンブルーク。ご自宅は、素敵な立地だった。

この領域には、副学長の邸宅始め、個性的で、素敵なお屋敷街だった。

最初は、三日ほどの予定で、ホテルに移ることになっていた。

いささか緊張、部屋も素晴らしい。翌朝、簡単に、ベッドメイク、始め、

荷物や部屋を片付け、後始末。その後、食事タイム。

奥様も親切で、信用されたのか、二日目から、自由にと、鍵まで、預けられた。

この領域、素晴らしい素敵な紅葉に、満ちあふれていた。

レンタカーで来ている。その後、カナダ方面への取材も、計画していた。

時間の余裕もあったので、用事の節は前もって、前日に言うからと、有難い自由行動。

アメリカ、ボストンで、夢絵の個展開催。

初日のレセプションには、約 200 名の招待客。学校創立 150 周年の記念行事。

大太鼓のパフォーマンスや、英語俳句の講演も、他の人が・・・

私は、特別ゲストとして招かれ、夢絵作品等、**64 作品**を、**4 会場**のブース別に展示。

学芸員も二人、打ち合わせだけでなく、多方面で、サポート。

有難いことに、私は当日、羽織袴での、アーティスト、レセプションに専念。

下記、会場前、作品をバックに、音楽も生、三重奏でお迎えするという、有難い素敵な趣向。

ボストン総領事も出席され、親しく談笑。特に、夢絵作品「森の妖精」に関心を持たれ、

モネのようだと言われた。その後、夢絵作品「森の妖精」が、

フェデラルリザーブプラザの総領事館に飾られると、連絡を受けた。

副学長のご尽力のおかげ。大成功だった。

そして、翌朝の散歩の際に出会った光景。

平凡な光景だが、そんなことがあった、後だけに、この光景、深く心に刻まれた。

下記は、会場入り口での三重奏のお出迎え、ほか、

いい思い出は、心の財産。



While a good picture should have a main actor, a secondary character, background, lighting and composition, a great picture should evoke feelings and capture the soul of the subject or scene. Presented in crystal prints, the latter photos can be breath-taking in their power, range, definition and color. While this is perhaps the most common approach, our guest has worked on his own for more than five years to obtain results with a gentler approach.

In his work, Kuraku Geiburu has developed a unique and exceptional technique for transferring an image to a thick washi or Japanese paper. The resultant works provide an insight into the soul not only of the subject but also of the artist. The viewer will have an opportunity to contrast the outcomes of the two approaches.

This is the first time this use of washi has been shown in the United States. Be prepared to fall in love with his work. None who have seen it have failed to be caught up in the powerful feelings, the happy feelings, the feelings of awe and the reverence for life.